

No.	区分	機能	概要	詳細
1	新機能	スケジュール	交通費・経費精算機能の搭載 (有償オプション)	<p>予定の登録と同時に訪問先までの交通経路を検索し、交通費や経費を蓄積して経費精算申請を行える「交通費・経費精算」機能を搭載しました。</p> <p>スケジュール登録画面から出発地と到着地を入力することで、移動に最適な鉄道・空路・航路・高速バス・路線バスなどの経路および交通費を検索できます。ICカード運賃・切符運賃の切り替えはもちろん、個人が所持する通勤定期区間の運賃も自動的に控除されます。(個人の通勤定期区間は、個人のプロフィールから設定できます)</p> <p>交通費のほか、タクシー代やお土産代などの諸経費についても、領収書の画像データとともに、予定に登録できます。毎月の締め日には、その月の交通費・経費を集計し、集計された内容をそのままワークフローで申請できます。そのほか、集計結果をCSVファイルにエクスポートして別システムに入力する、集計結果を印刷して従来の紙の申請書に添付するなど、柔軟なデータ活用を行えます。</p>
2	機能改善	スケジュール		サブウィンドウ>印刷用表示で、予定名称や内容が横に長かった場合に、途中で折り返さず、ページ幅いっぱいまで表示するよう修正しました。
3	機能改善	スケジュール	その他アイコンのファイルサイズ拡張	スケジュールのその他アイコンのアイコンとして登録できる画像ファイルのファイルサイズの制限を、最大10KBまで拡張しました。
4	機能改善	スケジュール	予定項目の予定の色を設定しやすく	スケジュール機能管理>予定項目の登録画面において、予定の色をあらかじめ展開された状態とすることで、設定しやすくしました。
5	機能改善	スケジュール	インポート/エクスポート対象ユーザー/組織の初期設定	特定のユーザー/組織の、個人一日/個人週間/個人月間を表示した状態で「CSVファイルからインポート」「CSVファイルへエクスポート」を開いた際、表示していたユーザー/組織を、インポート/エクスポート対象として初期設定するようになりました。
6	新機能	ウェブメール (IMAP)	IMAPメールサーバー対応	<p>ウェブメールがIMAPメールサーバーに対応しました。IMAPサーバー上のメール参照、フォルダ参照・編集、送信済みメールの保存などが行えます。</p> <p>IMAPメールサーバーに対応したウェブメールは「ウェブメールIMAP」という機能名で提供され、従来の「ウェブメール」といづれか(または両方)を選択して利用することができます。「ウェブメールIMAP」は、スマートフォンインターフェースでも利用できます。</p> <p>※ウェブメール機能とウェブメールIMAP機能には、いくつかの機能差があります。P5の機能比較表をご参照ください。</p>
7	新機能	ウェブメール	メール送信前の表示/チェック項目のカスタマイズ	メール送信前に表示/チェックさせる項目を管理者がカスタマイズできるようになりました。ウェブメール>システム管理の誤送信防止設定から設定できます。
8	新機能	ウェブメール	メール送信前の表示/チェック時に社外アドレスを強調表示	メール送信前の確認画面で、宛先/CC/BCCを表示またはチェック必須としている場合に、送信先ホワイトリストに設定されていないドメインの宛先を強調表示するようになりました。誤ってメールを社外に送信してしまうミスを減らせます。
9	新機能	ウェブメール	メール送信前のチェック時に社内アドレスのチェックを免除	メール送信前の確認画面で、宛先/CC/BCCのチェックを必須としている場合に、送信先ホワイトリストに設定されているドメインについては、宛先のチェックを省略できる設定が追加されました。

No.	区分	機能	概要	詳細
10	新機能	ウェブメール	メール送信前の表示/チェック時に大量アドレス送信を警告	メール送信前の確認画面で、宛先/CCに一定数のアドレスが指定されている場合に、BCCでの送信を促す警告メッセージを表示することができるようになりました。ダイレクトメールの送信時など、顧客メールアドレスの漏えいを未然に防ぎます。大量アドレスとする件数は、ウェブメール>システム管理の誤送信防止設定から設定できます。
11	新機能	ウェブメール	メール編集時の自動保存・回復	メールの編集時、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、メールを送信または保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にメール作成画面を開いた際に、編集時だった内容を回復することができます。
12	新機能	ウェブメール	メール送受信ログの出力	アカウント設定の「受信時のログ」「送信時のログ」から、メール送受信時のメールサーバーとの通信ログを出力できるようになりました。メール送受信処理でエラーなどが発生した場合の問題解決に役立ちます。
13	機能改善	ウェブメール	誤送信防止設定画面の新設	ウェブメール>システム管理に「誤送信防止設定」と「送信先ホワイトリスト設定」を新設しました。「誤送信防止設定」では、メール送信前の確認と送信の取り消しに関する設定が、また「送信先ホワイトリスト設定」では、メール送信前の確認に使用するドメイン名のホワイトリスト設定が行えます。
14	機能改善	ウェブメール	リッチテキストエディタの変更	リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
15	新機能	回覧・レポート	画像のアップロードと本文への貼り付け	回覧・レポートの本文に、ローカルに保存された画像ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。
16	新機能	回覧・レポート	画像編集ツールによるイメージ編集・レタッチ	アップロードした画像に対し、その場で様々な編集を行える、「画像編集ツール」を搭載しました。画像へのテキスト追加や、各種図形（四角、丸、ふきだし、矢印など）の挿入、画像の一部切り出しといった基本的な編集機能のほか、モノクロ・セピア・モザイクといった各種フィルタも適用できます。
17	新機能	回覧・レポート	本文への動画貼り付け・再生	回覧・レポートの本文に、ローカルに保存された動画ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。貼り付けられた動画は、本文中に表示され、その場で再生を行えます。 ※動画の再生にはHTML5のvideo要素を利用しており、MP4形式、Ogg形式、WebM形式の動画ファイルを利用可能です。
18	新機能	回覧・レポート	回覧・レポート編集時の自動保存・回復	回覧・レポートの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、回覧・レポートを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次に回覧・レポート作成/変更画面を開いた際に、編集時だった内容を回復することができます。
19	機能改善	回覧・レポート	リッチテキストエディタの変更	リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
20	新機能	インフォメーション	画像編集ツールによるイメージ編集・レタッチ	アップロードした画像に対し、その場で様々な編集を行える、「画像編集ツール」を搭載しました。画像へのテキスト追加や、各種図形（四角、丸、ふきだし、矢印など）の挿入、画像の一部切り出しといった基本的な編集機能のほか、モノクロ・セピア・モザイクといった各種フィルタも適用できます。

No.	区分	機能	概要	詳細
21	新機能	インフォメーション	本文への動画貼り付け・再生	インフォメーションの本文に、ローカルに保存された動画ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。貼り付けられた動画は、本文中に表示され、その場で再生を行えます。 ※動画の再生にはHTML5のvideo要素を利用しており、MP4形式、Ogg形式、WebM形式の動画ファイルを利用可能です。
22	新機能	インフォメーション	インフォメーション編集時の自動保存・回復	インフォメーションの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、インフォメーションを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にインフォメーション作成/変更画面を開いた際に、編集中心だった内容を回復することができます。
23	機能改善	インフォメーション	リッチテキストエディタの変更	リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
24	機能改善	インフォメーション	キャビネットを経由しない画像アップロード	インフォメーションの本文に貼り付ける画像をアップロードする際、キャビネット機能を経由せずに直接アップロードできるようになりました。従来通り、キャビネットにファイルを追加してからの貼り付けにも対応します。
25	新機能	ポータル	画像編集ツールによるイメージ編集・レタッチ	アップロードした画像に対し、その場で様々な編集を行える、「画像編集ツール」を搭載しました。画像へのテキスト追加や、各種図形（四角、丸、ふきだし、矢印など）の挿入、画像の一部切り出しといった基本的な編集機能のほか、モノクロ・セピア・モザイクといった各種フィルタも適用できます。
26	新機能	ポータル	リッチテキストコンテンツへの動画貼り付け・再生	リッチテキストコンテンツの本文に、ローカルに保存された動画ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。貼り付けられた動画は、ポータル上に表示され、その場で再生を行えます。 ※動画の再生にはHTML5のvideo要素を利用しており、MP4形式、Ogg形式、WebM形式の動画ファイルを利用可能です。
27	新機能	ポータル	リッチテキストコンテンツ編集時の自動保存	リッチテキストコンテンツの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、リッチテキストコンテンツを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にリッチテキストコンテンツ作成/変更画面を開いた際に、編集中心だった内容を回復することができます。
28	機能改善	ポータル	リッチテキストエディタの変更	リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
29	機能改善	ポータル	キャビネットを経由しない画像アップロード	リッチテキストコンテンツの内容に貼り付ける画像をアップロードする際、キャビネット機能を経由せずに直接アップロードできるようになりました。従来通り、キャビネットにファイルを追加してからの貼り付けにも対応します。
30	機能改善	設備予約	印刷用表示の調整	サブウィンドウ>印刷用表示で、利用目的や内容が横に長かった場合に、途中で折り返さず、ページ幅いっぱいまで表示するよう修正しました。
31	機能改善	設備予約	利用目的項目の予定の色を設定しやすく	設備予約機能管理>利用目的項目設定の登録画面において、予定の色をあらかじめ展開された状態とすることで、設定しやすくしました。

No.	区分	機能	概要	詳細
32	機能改善	設備予約	インポート/エクスポート対象設備の初期設定	特定の設備の設備一日/設備週間/設備月間を表示した状態で「CSVファイルからインポート」「CSVファイルへエクスポート」を開いた際、表示していた設備を、インポート/エクスポート対象として初期設定するようになりました。
33	機能改善	ToDo	先頭ページへのタスク一覧リンクの追加	先頭ページの「期限切れ」「期限：今日/明日/明後日以降」「完了したタスク」に、「タスク一覧」へのリンクを追加しました。さらに、タスクの件数が先頭ページの表示件数より多い場合、「more...」リンクを表示します。
34	機能改善	ToDo	内容の入力欄を拡大	内容の入力欄の行数を拡張し、より入力しやすくしました。
35	機能改善	ToDo	先頭ページの表示件数設定の拡張	ToDoシステム管理> 共通設定およびToDo個人設定> 表示設定の「先頭ページの表示件数」の選択肢を拡張し、「1件/2件/3件/4件/5件/10件/15件/20件」から選択できるようにしました。
36	新機能	アンケート	アンケート編集時の自動保存	アンケートの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、アンケートを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にアンケート作成/変更画面を開いた際に、編集中だった内容を回復することができます。
37	新機能	ワークフロー	ワークフロー申請編集時の自動保存・回復	ワークフロー申請の作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、申請を保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次に申請作成/変更画面を開いた際に、編集中だった内容を回復することができます。
38	新機能	議事録	議事録編集時の自動保存・回復	議事録の作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、議事録を保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次に議事録作成/変更画面を開いた際に、編集中だった内容を回復することができます。
39	新機能	ネオツイ	保存期間の設定	ネオツイのつぶやきおよびダイレクトメッセージの保存期間を、それぞれ1ヶ月～36ヶ月、または無期限から設定できるようになりました。管理者設定> データの保存期間設定から設定できます。
40	機能改善	管理者設定	共有メールアカウントの実行ログ取得	共有メールアカウントに対する「メール受信」「メール送信」「メール操作」「フォルダ操作」の実行ログを取得できるようになりました。管理者設定> アクセスログ設定から設定が、また管理者設定> アクセスログ検索から実行ログの検索が行えます。
41	機能改善	管理者設定	オプションメニューアイコンのファイルサイズ拡張	オプションメニューのアイコンとして登録できる画像ファイルのファイルサイズの制限を、最大10KBまで拡張しました。
42	機能改善	管理者設定	共有/個人ブックマークアイコンのファイルサイズ拡張	共有/個人ブックマークのアイコンとして登録できる画像ファイルのファイルサイズの制限を、最大10KBまで拡張しました。
43	機能改善	その他	HTTPアクセスログへのパラメータ出力	ブラウザからWebサーバーに送信される各種リクエストについて、パラメータの一部がWebサーバーのアクセスログに出力されるよう修正しました。
44	動作環境	PostgreSQL	PostgreSQL 9.3対応	データベースにPostgreSQL 9.3を利用できるようになりました。

ウェブメール/ウェブメールIMAP機能比較表

(凡例) ○ : 対応、× : 未対応、- : 対象外

No.	ウェブメール (POP)	ウェブメールIMAP
利用者機能		
メール一覧でのチェックボックスによるメール選択および複数ページをまたいだ全メールの選択	○	×
メール一覧の「重要度」「添付有無」「フラグ」での並び替え	○	×
メール一覧の「転送済みメール」のアイコン表示	○	×
メールテンプレート	○	×
メールのインポート	○	×
メールへの付箋貼り付け	○	×
ネオツイへのお知らせ通知	○	×
ゴミ箱に入った日を基準にメールを削除	○	×
ディレクトリサービス	×	○ ディレクトリサービス (LDAPサーバー) 上のアドレスを検索可能
メール検索の対象項目	○ 「差出人」「宛先 / CC」 「件名」「本文」「いずれかの項目」 から1項目を選択	○ 「差出人」「宛先 / CC」 「件名」「本文」から複数項目選択
メール検索の追加条件	○ 「既読のみ」「未読のみ」 「フラグ付き」「添付あり」を 条件として指定可能	○ 「未読のみ」「フラグ付き」を 条件として指定可能
メールの最適化	○	- メール索引を持たないため 最適化不要
アカウント管理		
複数アカウントの管理	○	×
アカウント毎のメールサーバー設定	○	×
共有アカウントの利用	○	×
アカウントのインポート/エクスポート画面	○	×
アカウントインポート/エクスポートバッチ	○	○ オプションバッチに同梱
機能管理		
各ユーザーの容量設定	○	- IMAPサーバー側で制御
個人/共有アカウント最適化バッチの提供	○	- メール索引を持たないため 最適化不要
自動受信バッチ、メール受信バッチの提供	○	×
メール自動削除バッチの提供	○	×
メールインポートバッチの提供	○	×
内部仕様の差		
容量表示	○ ウェブメール機能の 容量設定を表示	○ IMAPサーバー側の quota設定を表示
自動受信処理	○ サーバー上で定期的に メールを受信	△ メール画面を開いている時のみ 自動受信
メール検索	○ ウェブメール機能が管理する データベースを検索	○ IMAPサーバーの 検索機能を利用